

.....
おくちの
相談室
.....

【問い】息子は小学校高学年になってもまだ、左上の犬歯が生えてきません。どうしたらいいでしょうか？ もうしばらくこのまま待っていてもいいですか？

（長崎市、41歳女性）

【答え】上顎の犬歯が生えてくるのは10歳から12歳までの間が一般的ですが、個人差もありますので、質問の内容だけでは判断は難しいところです。しかし、右の犬歯は生え変わっているのに、左は乳歯が抜けて6カ月たっても永久歯が生えていないとか、生えてくる場所がないなどあれば、何らかの原因で生えない「萌出障害」や、まれに永久歯がない可能性があります。

犬歯が生えない

萌出障害の恐れも、検査を

こうした際、歯科医院では口の中全体を診ることができ、パノラマエックス線写真などで検査を行います。萌出障害が確認できた場合、犬歯は生えるべき場所にスペースがなく、隣の前歯の歯根と重なるようになって、骨の中に埋まったままになっている状態です。このままの場合によっては、犬歯が重なった前歯の歯根を溶かしてしまうことがあります。長く放置すると前歯の歯根吸収が進行し、前歯が抜歯になる場合もありますので、萌出障害が分かった時点で対応が必要です。

具体的な対応としては▽乳犬歯を抜く▽拡大装置で上顎を広げる▽埋まっている犬歯を引っ張り出すなどの処置をして、歯列を整えることもあります。犬歯の萌出が遅い場合は早めに歯科医院で確認してもらいましょう。できれば、遅くとも7〜9歳頃に一度、パノラマエックス線写真で歯の数や位置を検査しておくことをお勧めします。

回答者
わたなべ えつこ
渡邊 悦子



プレミアムスマイル
長崎矯正歯科院長

（長崎市平野町）

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。